



The statistical report of Sakai City

今回の数字

53.7%

作成日：平成 25 年 5 月 20 日
作成元：坂井市役所 企画情報課
TEL:0776-50-3013
FAX:0776-66-4837
MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～ 坂井市の働く女性 ～

5 月の第 2 日曜日は母の日です。今年は 5 月 12 日でした。

母の日は、『日頃の母の苦勞を勞り、母への感謝を表す日』として、カーネーションを贈ることが一般的となっています。合併前の旧坂井町ではカーネーションを生産しており、町の花にもなっていました。

前回の情報館で、『坂井市の就業状況』について紹介しましたが、今回は、母の日になんで“坂井市の働く女性”に関する数字を紹介します。

□坂井市の女性就業率は県内 1 位

平成 22 年国勢調査結果によると、坂井市の女性の人口は、47,665 人で、そのうち 15 歳以上人口は、40,731 人、就業者数は、21,570 人でした。

労働力状態、15歳以上人口(平成22年)

(人、%)

<女 性>	全国	福井県	坂井市
15歳以上人口	57,122,871	358,798	40,731
労働力人口	26,874,210	187,401	22,433
(うち 就業者)	25,521,682	180,003	21,570
非労働力人口	27,286,707	166,306	17,741
労働力率 ※1	49.6	53.0	55.8
就業率 ※2	47.1	50.9	53.7

資料：平成22年国勢調査

※1 15歳以上人口に占める労働力人口の割合

※2 15歳以上人口に占める就業者数の割合

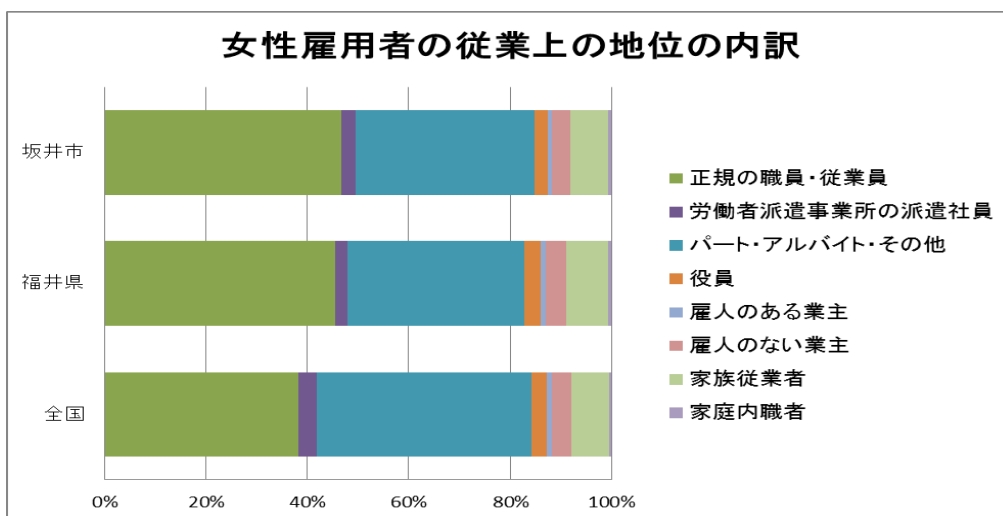
15歳以上人口に占める女性就業者数（就業率）は、前回ご紹介したとおり、福井県は、50.9%で全国上位（2位）に位置しており、坂井市は、53.7%と県内17市町中1位でした。また、福井県女性雇用者に占める「正規の職員・従業員」の割合も54.8%で全国上位（2位）、下のグラフからもわかるように坂井市でも女性就業者に占める「正規の職員・従業員」の割合は、55.2%とかなり高くなっています。

女性の就業率

順位	都道府県名	就業率(%)
1	石川県	51.2
2	福井県	50.9
3	東京都	50.2
4	長野県	50.2
5	愛知県	50.1

女性雇用者に占める「正規の職員・従業員」の割合

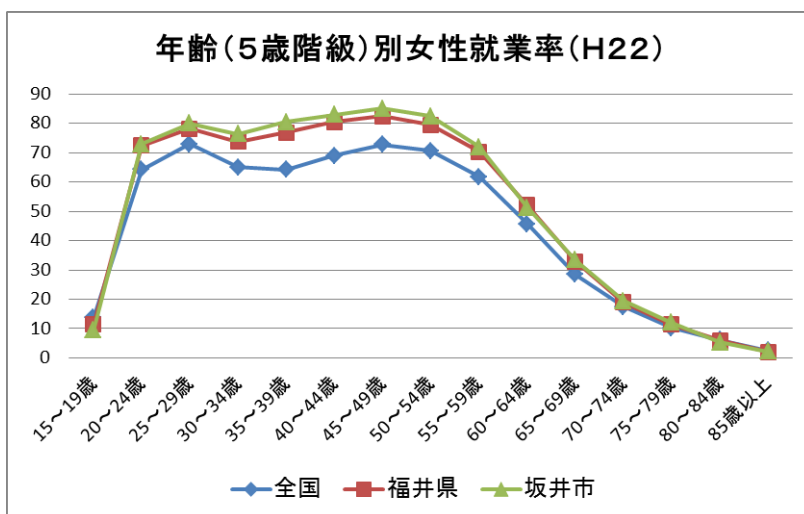
順位	都道府県名	割合(%)
1	山形県	56.0
2	福井県	54.8
3	徳島県	54.3
4	富山県	54.0
5	高知県	53.2



資料：平成22年国勢調査

口就業率の高さを支えているのは子育て世代

それでは、坂井市女性の高い就業率を支えているのはどの世代なのでしょう。全国、福井県および坂井市の年齢別の女性就業率についてグラフにしてみました。

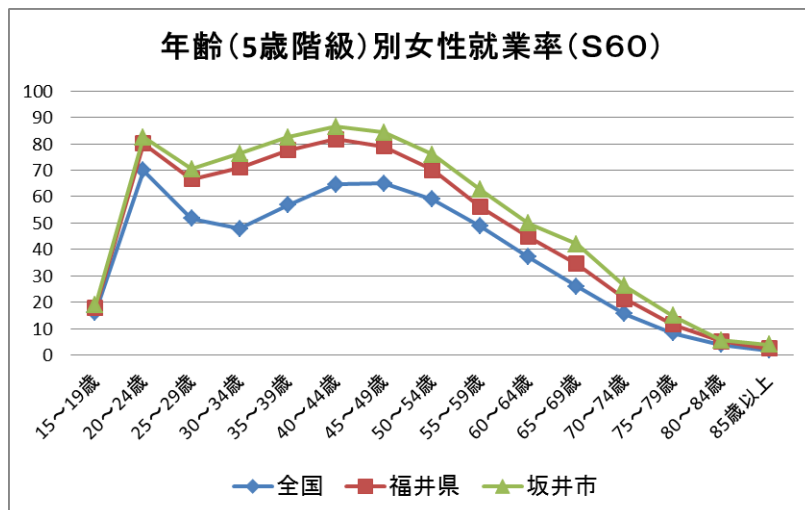


資料：平成22年国勢調査

坂井市では、ほぼすべての年齢階級の就業率が全国の上回っています。特に30歳から54歳の年代では全国の上回っています。坂井市の女性就業率が高いのは、いわゆる“子育て世代”の女性の就業率の高さが影響していると思われます。

□坂井市の女性は昔から働き者でした

今から 28 年前、昭和 60 年国勢調査の年齢別女性就業率をグラフにしたものです。

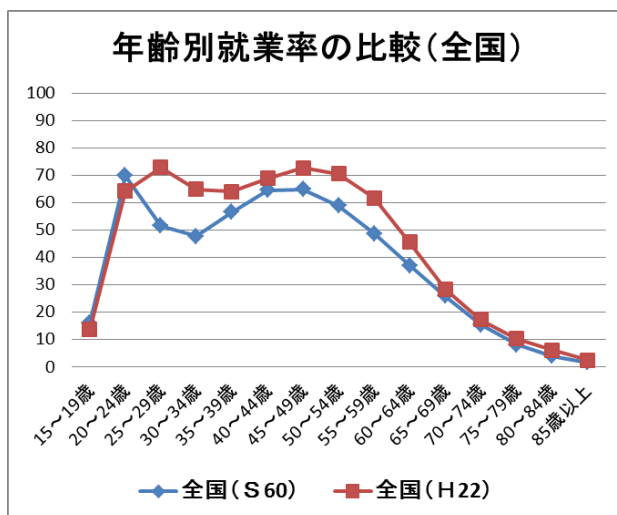
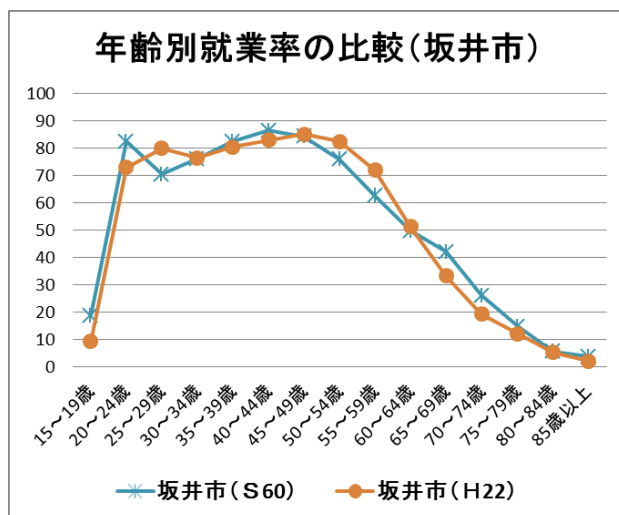


資料：昭和 60 年国勢調査

女性は、就職した後、結婚や出産の為に仕事を離れることが多く、その年代に就業率に変動が生じ、一般的に『M字カーブ』を描くと言われています。全国の調査結果では、25 歳～29 歳で就業率が一気に低下、30～34 歳の就業率は 47.8%とさらに低下し、35 歳～49 歳にかけて再び上昇していくという『M字カーブ』が顕著に表れています。一方、坂井市は、25～29 歳で就業率が一旦低下はしますが、70.4%と全国の 51.7%と比較すると約 19%も高くなっています。坂井市の女性が 28 年前も働き者だったことがわかります。

□昭和 60 年と平成 22 年を比較すると・・・

昭和 60 年と平成 22 年の全国と坂井市での女性の年齢別就業率を比較してみました。



資料：昭和 60 年・平成 22 年国勢調査

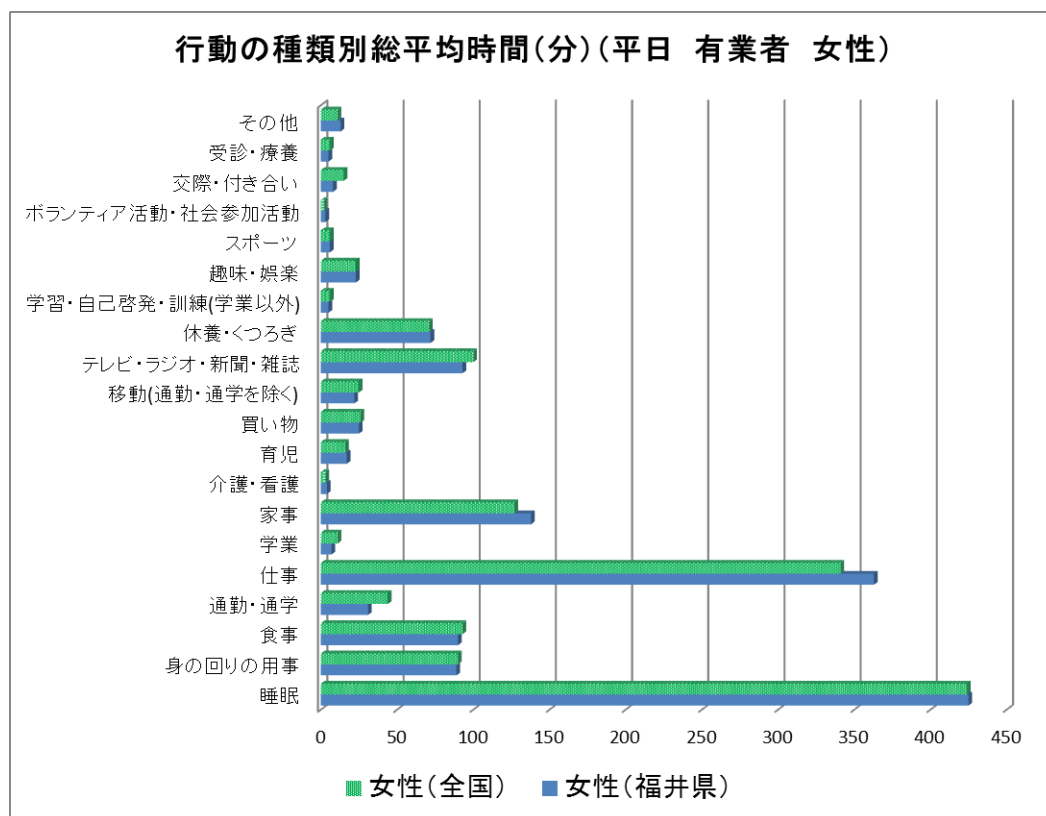
坂井市は、共働き率が高く、結婚や出産後も働き続けている女性が多いことは前回ご紹介しました。そのことを示すように、昭和 60 年、平成 22 年ともに各年代の就業率が高く、『M字カーブ』も緩やかです。

一方、全国のグラフは、この 28 年間で 25 歳～40 歳の就業率は上昇し、『M字カーブ』の形が明らかに変化しています。これは結婚や出産で仕事を離れる女性が減少し、働く女性が増えていることを表しているのではないのでしょうか。

□仕事時間も家事時間も全国平均以上

それでは、働く女性は、毎日どのように過ごしているのでしょうか。

総務省では、国民が日々どれくらいの時間を仕事や学業、家事に費やしているかを調査する【社会生活基本調査】を5年毎に実施しています。平成23年に実施された調査結果から、全国と福井県の有業者（※）女性において、平日の行動の種類別総平均時間を比較してみました。



資料：平成23年社会生活基本調査

※有業者：15歳以上の人で、ふだんの状態として、収入を目的とした仕事を続けている人

福井県の有業者女性の平日家事時間・仕事時間はそれぞれ138分・363分と、共に全国の平均（家事時間127分・仕事時間341分）を上回っています。一方で、福井県の有業者男性の平日平均家事時間は9分で全国平均（9分）と変わりませんでした。共働き率が全国1位の福井県ですが、家事時間については、共働きとはなっていないようです。行動の種類別生活時間の結果からも、福井県の女性は働き者であるといえるのではないのでしょうか。

今回の数字の答え:53.7%： 坂井市の女性就業率（平成22年国勢調査15歳以上人口に占める就業者の割合）